

## 2023年2月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年1月10日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 安川電機

コード番号 6506 URL <https://www.yaskawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小笠原 浩

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報・IR部長 (氏名) 林田 歩 TEL 093-588-3076

四半期報告書提出予定日 2023年1月11日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年2月期第3四半期の連結業績（2022年3月1日～2022年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第3四半期	407,520	14.0	48,132	20.5	51,071	23.9	37,471	20.6
2022年2月期第3四半期	357,378	27.7	39,932	99.2	41,227	116.0	31,058	116.6

	親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額		基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	円 銭		円 銭	
2023年2月期第3四半期	37,189	20.8	52,509	14.2	142.25		142.13	
2022年2月期第3四半期	30,774	118.5	45,997	176.9	117.73		117.66	

#### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2023年2月期第3四半期	644,785		335,312		328,140		50.9	
2022年2月期	559,038		298,100		291,234		52.1	

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円 銭		円 銭		円 銭					
2022年2月期	-		26.00		-		26.00		52.00	
2023年2月期	-		32.00		-					
2023年2月期（予想）							32.00		64.00	

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年2月期の連結業績予想（2022年3月1日～2023年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	550,000	14.8	70,000	32.4	72,000	30.0	51,500	34.3

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

決算に関する詳細情報として、当社ウェブサイト（<https://www.yaskawa.co.jp>）に本日公表の決算補足説明資料を掲載しております。併せてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年2月期3Q	266,690,497株	2022年2月期	266,690,497株
② 期末自己株式数	2023年2月期3Q	5,244,940株	2022年2月期	5,277,597株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年2月期3Q	261,432,273株	2022年2月期3Q	261,407,456株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2023年1月10日（火）に証券アナリスト・機関投資家向けオンライン決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①2023年2月期第3四半期(2022年3月1日～2022年11月30日)の経営成績

当第3四半期における当社グループの経営環境は、製造業全般における生産の高度化・自動化を目的とした設備投資が継続的に行われました。特に半導体・電子部品市場では、米国・日本を中心に需要が高い水準で推移し、自動車市場においてもEV化やリチウムイオン電池関連などの投資がグローバルで力強く拡大しました。また、オイル・ガス関連の需要も米国においては、期を通じて伸長しました。その一方、中国においては、新型コロナウイルスの感染拡大によるロックダウンやゼロコロナ政策の影響などを受け、設備投資は伸び悩みました。

このような環境において当社グループの業績は、半導体など長期化する部品の供給不足によって生産制約の影響を受けましたが、期の後半から需給逼迫の緩和などによって生産が回復し、好調な受注を売上につなげることで増収となりました。利益面については、原材料費や物流費の高騰影響を受けたものの、売上増加に伴う採算性の改善や為替の円安影響に加え、退職年金制度の変更などによるその他の収益もあり、営業利益は前年同期比で増加しました。

これらの結果、売上収益・営業利益は第3四半期としては過去最高を更新しました。

なお、当第3四半期における当社グループの地域別の経営環境は以下のとおりです。

- 日 本： 半導体・電子部品市場や自動車市場などで設備投資が継続するなど、需要は総じて堅調に推移しました。
- 米 国： 自動車やオイル・ガス、半導体関連などの設備投資が期を通じて拡大し、一般産業においても人件費高騰などを背景とした自動化投資が継続するなど、需要は高い水準で推移しました。
- 欧 州： 期の後半にかけて景気減速の影響が懸念されたものの、自動車や木工機械などを中心に設備投資が継続するなど、需要は底堅く推移しました。
- 中 国： EV化の加速を背景に自動車・ニューインフラ関連など、一部の市場で需要は堅調に推移しました。その一方、コロナ禍におけるロックダウンやゼロコロナ政策などにより、一般産業を中心に市場全体の設備投資は伸び悩みました。
- 中国除くアジア：韓国を中心に半導体市場の設備投資が期の後半から減少したものの、自動車やリチウムイオン電池関連などの需要は総じて高い水準で推移しました。

この結果、当第3四半期の経営成績は以下のとおりです。

	2022年2月期 第3四半期連結累計期間	2023年2月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売 上 収 益	3,573億78百万円	4,075億20百万円	+14.0%
営 業 利 益	399億32百万円	481億32百万円	+20.5%
親会社の所有者に帰属する 四 半 期 利 益	307億74百万円	371億89百万円	+20.8%
米 ド ル 平 均 レ ー ト	110.50円	134.53円	+24.03円
ユ ー ロ 平 均 レ ー ト	130.67円	139.14円	+8.47円
中 国 人 民 元 平 均 レ ー ト	17.12円	19.80円	+2.68円
韓 国 ウ ォ ン 平 均 レ ー ト	0.096円	0.102円	+0.006円

## ②セグメント別の状況

当社グループでは、事業内容を4つのセグメントに分けています。

当第3四半期の各セグメントの経営成績は以下のとおりです。

モーションコントロール	売上収益	1,885億43百万円	(前年同期比 +9.0%)
	営業損益	261億30百万円	(前年同期比 △12.0%)
<p>モーションコントロールセグメントは、ACサーボモータ・コントローラ事業とインバータ事業で構成されています。</p> <p>中国においてロックダウンやゼロコロナ政策などの影響を受けた一方、米国を中心に半導体やオイル・ガス関連などの積極的な設備投資が継続したことから、売上収益は前年同期比で増加しました。利益面においては中国での売上減少に伴う利益の減少や、グローバルでの原材料費や物流費の高騰影響などにより減益となりました。</p> <p>[ACサーボモータ・コントローラ事業]</p> <p>米国・日本などで半導体・電子部品の需要が高い水準で推移しました。中国ではリチウムイオン電池関連や太陽光発電用パネルなどの成長市場において需要が堅調に推移したものの、一般産業を中心に設備投資は低迷しました。これらの結果、事業全体の売上収益は増加しました。</p> <p>[インバータ事業]</p> <p>米国においてオイル・ガス関連の需要が大幅に増加したほか、グローバルで脱炭素化（カーボンニュートラル）を意識した省エネ化投資が加速するなど、販売は好調に推移しました。</p>			
ロボット	売上収益	1,618億34百万円	(前年同期比 +23.5%)
	営業損益	176億61百万円	(前年同期比 +50.3%)
<p>ロボットセグメントの主要市場である自動車においては、グローバルでEV化が加速し、新規の設備投資が増加するなど販売は好調に推移しました。また、リチウムイオン電池関連の生産設備の投資を拡大する動きが継続したほか、食品市場などの一般産業分野においても、生産の高度化・自動化を目的とした投資が行われました。さらに、半導体向けロボットの販売も日本・韓国などで堅調に推移しました。</p> <p>これらの状況を受け、売上収益・営業利益はともに前年同期比で大幅に増加しました。</p>			
システムエンジニアリング	売上収益	347億77百万円	(前年同期比 △9.3%)
	営業損益	8億6百万円	(前年同期比 △38.4%)
<p>鉄鋼プラントや上下水道用電気システム関連の売上が伸び悩んだ一方、太陽光発電用パワーコンディショナの販売は伸長しました。この結果、セグメント全体の売上収益は前年同期比で減少し、利益面においては経費抑制を徹底したものの減益となりました。</p>			
その他	売上収益	223億64百万円	(前年同期比 +48.6%)
	営業損益	5億73百万円	(前年同期比 +114.2%)
<p>その他セグメントは、物流サービス事業などで構成されています。</p> <p>売上収益は前年同期比で増加し、営業利益は売上拡大に伴う採算性の改善により増加しました。</p>			

(2) 財政状態に関する説明

①資産 6,447億85百万円（前連結会計年度末比 857億46百万円増加）

たな卸資産や営業債権等の増加により、流動資産が前連結会計年度末に比べ662億75百万円増加しました。また、有形固定資産やその他の非流動資産等の増加により、非流動資産が前連結会計年度末に比べ194億71百万円増加しました。

②負債 3,094億72百万円（前連結会計年度末比 485億35百万円増加）

短期借入金やその他の流動負債等の増加により、流動負債が前連結会計年度末に比べ549億83百万円増加しました。一方、長期借入金の減少により、非流動負債が前連結会計年度末に比べ64億48百万円減少しました。

③資本 3,353億12百万円（前連結会計年度末比 372億11百万円増加）

利益剰余金やその他の資本の構成要素等が増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月1日から2023年2月28日までの期間における平均為替レートについては、足元の為替状況を考慮し、米ドル、中国人民元を第2四半期決算発表時点の計画から見直し、1ドル=140.0円から130.0円、1元=20.0円から19.0円といたします。ユーロ、韓国ウォンは同計画のとおり、1ユーロ=140.0円、1ウォン=0.100円を想定しています。

なお、2023年2月期通期連結業績予想については、第4四半期の想定為替レートを円高方向に修正した影響があるものの、部品の需給逼迫の緩和による生産増加などを織り込み、2022年10月7日に公表しました計画を据え置きます。また、年間配当予想につきましても変更はありません。

本資料に記載されている連結業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	55,151	42,377
営業債権	149,646	170,615
たな卸資産	131,767	181,264
その他の金融資産	2,078	4,739
その他の流動資産	23,718	29,640
流動資産合計	362,362	428,637
非流動資産		
有形固定資産	93,598	99,577
のれん	7,341	7,525
無形資産	18,068	18,534
使用権資産	12,431	14,647
持分法で会計処理されている投資	8,039	10,022
その他の金融資産	36,600	36,167
繰延税金資産	12,510	16,960
その他の非流動資産	8,085	12,712
非流動資産合計	196,675	216,147
資産合計	559,038	644,785

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	76,922	80,540
借入金	20,497	57,166
未払法人所得税	5,866	6,033
リース負債	2,497	2,898
その他の金融負債	4,338	4,916
引当金	1,939	2,220
その他の流動負債	63,215	76,486
流動負債合計	175,278	230,261
非流動負債		
社債及び借入金	36,376	26,214
リース負債	8,674	10,344
その他の金融負債	296	311
退職給付に係る負債	30,050	30,837
繰延税金負債	2,338	1,874
引当金	3,979	4,293
その他の非流動負債	3,943	5,335
非流動負債合計	85,659	79,211
負債合計	260,937	309,472
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	30,562	30,562
資本剰余金	28,312	28,349
利益剰余金	232,547	254,992
自己株式	△21,971	△21,849
その他の資本の構成要素	21,783	36,085
親会社の所有者に帰属する持分合計	291,234	328,140
非支配持分	6,866	7,172
資本合計	298,100	335,312
負債及び資本合計	559,038	644,785



(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年 3月 1日 至 2021年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年 3月 1日 至 2022年11月30日)
売上収益	357,378	407,520
売上原価	△231,934	△267,835
売上総利益	125,444	139,685
販売費及び一般管理費	△85,797	△96,975
その他の収益	1,184	5,560
その他の費用	△899	△138
営業利益	39,932	48,132
金融収益	707	1,124
金融費用	△882	△1,360
持分法による投資損益	1,469	3,174
税引前四半期利益	41,227	51,071
法人所得税費用	△10,168	△13,599
四半期利益	31,058	37,471
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	30,774	37,189
非支配持分	284	281
合計	31,058	37,471
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	117.73	142.25
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	117.66	142.13

## （要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年 3月 1日 至 2021年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年 3月 1日 至 2022年11月30日）
四半期利益	31,058	37,471
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融 資産の純変動額	5,341	△717
確定給付制度の再測定額	982	378
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持 分	10	22
合計	6,335	△315
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	8,599	15,427
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動 額	3	△73
合計	8,603	15,354
その他の包括利益合計	14,938	15,038
四半期包括利益合計	45,997	52,509
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	45,482	51,912
非支配持分	515	597
合計	45,997	52,509

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2021年3月1日 至 2021年11月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2021年3月1日残高	30,562	28,042	204,150	△22,023	5,535	246,266	3,294	249,561
四半期利益	—	—	30,774	—	—	30,774	284	31,058
その他の包括利益	—	—	—	—	14,707	14,707	231	14,938
四半期包括利益合計	—	—	30,774	—	14,707	45,482	515	45,997
自己株式の取得	—	—	—	△4	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	4	—	59	—	64	—	64
剰余金の配当	—	—	△9,934	—	—	△9,934	△183	△10,118
株式報酬取引	—	△56	—	—	—	△56	—	△56
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	962	—	△962	—	—	—
その他	—	21	—	—	—	21	—	21
所有者との取引額等合計	—	△30	△8,972	55	△962	△9,909	△183	△10,093
2021年11月30日残高	30,562	28,011	225,952	△21,968	19,281	281,838	3,626	285,465

当第3四半期連結累計期間（自 2022年3月1日 至 2022年11月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2022年3月1日残高	30,562	28,312	232,547	△21,971	21,783	291,234	6,866	298,100
四半期利益	—	—	37,189	—	—	37,189	281	37,471
その他の包括利益	—	—	—	—	14,722	14,722	315	15,038
四半期包括利益合計	—	—	37,189	—	14,722	51,912	597	52,509
自己株式の取得	—	—	—	△3	—	△3	—	△3
自己株式の処分	—	5	—	124	—	130	—	130
剰余金の配当	—	—	△15,164	—	—	△15,164	△292	△15,456
株式報酬取引	—	31	—	—	—	31	—	31
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	420	—	△420	—	—	—
その他	—	0	—	—	—	0	—	0
所有者との取引額等合計	—	37	△14,744	121	△420	△15,006	△292	△15,298
2022年11月30日残高	30,562	28,349	254,992	△21,849	36,085	328,140	7,172	335,312

- (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。